

(活動報告書様式)

団体名	やまがたの自然の魅力！満喫プロジェクト		
事業名	親子で学ぼう！自動車部品の再利用と子どもたちの未来！		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：山形県自動車販売店リサイクルセンター山形から発進！ 未来へつなぐ循環型社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	631,609 円
		うち助成金額	419,255 円

■事業目的

これからの循環型社会の在り方を学ぶには、若者世代という枠組みでの集客や実践は、非常に厳しい現状にある。そのため、長期的な見通しを持って、親子で楽しめるワークショップを提案していく必要がある。そこで、自動車店を個人事業主として営む若者を講師に迎え、親世代、子ども世代に伝えたい、自動車部品のリサイクルのあり方についてインタビューを行い、そのメッセージを咀嚼し、親子で楽しく学べる形に、コーディネートすることで、より多くの親子に、自動車リサイクルの必要性を知ってもらうための素地を作ることを事業の目的とする。

■事業内容

12月18日-19日に、山形市のヒルズサンピア山形を会場に、園児3名、小学生13名、保護者15名、合計31名の参加のもと、リサイクルが可能な自動車部品を知るワークショップを開催しました。今回、YouTubeにアップされている動画をもとに、学習プログラムとしてまとめ、若者（親世代）に伝えるための資料を作成し、今後も、継続的にリサイクルについて考えることができるような仕組みづくりを行いました。加えて、元幼稚園教諭の方々の協力のもと、子ども向けの絵本や体験活動を通して、リサイクルの必要性を伝えるワークショップを行いました。そ

の結果、親子で、自動車部品のリサイクルの必要性を学び、循環型社会を一緒に作っていく必要があるという同じ方向を向き合える機会を提供することができました。さらに、インターネット上にも、当日の様子やインタビューの内容を掲載し、自動車部品のリサイクルのあり方について啓蒙していくための仕組みを整えることができました。

■事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

親子で、リサイクルの必要性とあり方について、一緒に考えるきっかけづくりの場を提供することができました。当日は、エアバックを取り出す場面を見せてもらったり、自動車の車体に自由に絵を描かせてもらったり、様々な工夫を凝らして、リサイクルへの興味づけをすることができました。また、エアバックの生地で、製品を作る場面を実際に見て、担当の方に直接質問する機会も作ってもらったことで、アイデアコンクールの意欲づけにもなりました。また、参加した保護者の中には、「次に車の購入を考えるときには、部品のリユースを積極的に考え、環境に優しい選択を息子と一緒に考えたい」という方も多数おり、若者世代が、リサイクル可能な部品を選択するようになり、普段の生活でもリサイクル可能な製品を選ぶ傾向が高まる一助となりました。子どもたちにも、

安い製品よりも長く大切に使える製品を選ぶ目を養うことができました。今後、ますます、長期的に循環型社会の実現するための取り組みになっていくことを確信しました。今回、ラジコンの分解をしたり、ハンドルの仕組みの模型を準備したことによって、自動車には外見から見えていよりも何倍もの部品が使われていることを、親子で認識することができ、自動車リサイクルへの意欲がグッと高まりました。また、当日は、菅原理事長からも講話をいただくことによって、なぜ、今、自動車リサイクルが必要になってきているのか、心から理解している様子でした。

②今後の展望

次年度以降も、自動車リサイクルセンターさんを訪問し、エアバックを取り出す体験や自動車を分解する体験など、自動車リサイクルに関する体験をさせてもらい、低学年の親子だけでなく、高学年も対象にした「自動車リサイクル」を考える事業を展開していきたいと考えています。また、インターネットを通して、親子で、自動車リサイクルを考えるときのヒントになる動画を積極的に紹介していきたいと考えています。

